

# 日伯インフラ事業向けリアル建ファイナンスに係る JBICとBNDESとの協調

---



2011年6月

国際協力銀行  
米州地域外事審議役  
藤田 豊明



JAPAN  
BANK FOR  
INTERNATIONAL  
COOPERATION

# 1. 海外インフラ事業へのJBICの取り組み

国内マーケットの飽和、旺盛な海外インフラ需要、総合的提案の必要性



世界最高レベルの日本の環境・省エネや安全・安心の技術経験を集約し、「ワンボイス・ワンパッケージ」でインフラ分野の民間企業の取り組みを強力に支援するための枠組みを整備し、官民連携によりインフラ分野での海外展開を推進する。

パッケージ型インフラ海外展開にあたり政府に期待される主な役割

情報収集

コンソーシアム  
形成支援

トップセールス

政策対話

ファイナンス支援

標準化支援等

## 今後JBICに求められる役割

### 案件形成初期段階からの能動的な関与

- **ホスト国との対話**を通じた働きかけ
- 魅力的なファイナンス・パッケージの提案のため**調査業務の活用**
- 日本企業が参入するインフラ事業への**機動的なファイナンス**のオファーを通じ、**コンソーシアム形成を支援**

ホスト国政府  
との対話

事業化へ  
向けた調査

入札実施

事業権獲得  
商談受注

## 従来からJBICが取り組んできた分野

事業者立案のビジネスプランに基づきファイナンスを供与

案件審査  
契約交渉

- 継続的対政府関係維持
- 債務持続性維持への支援

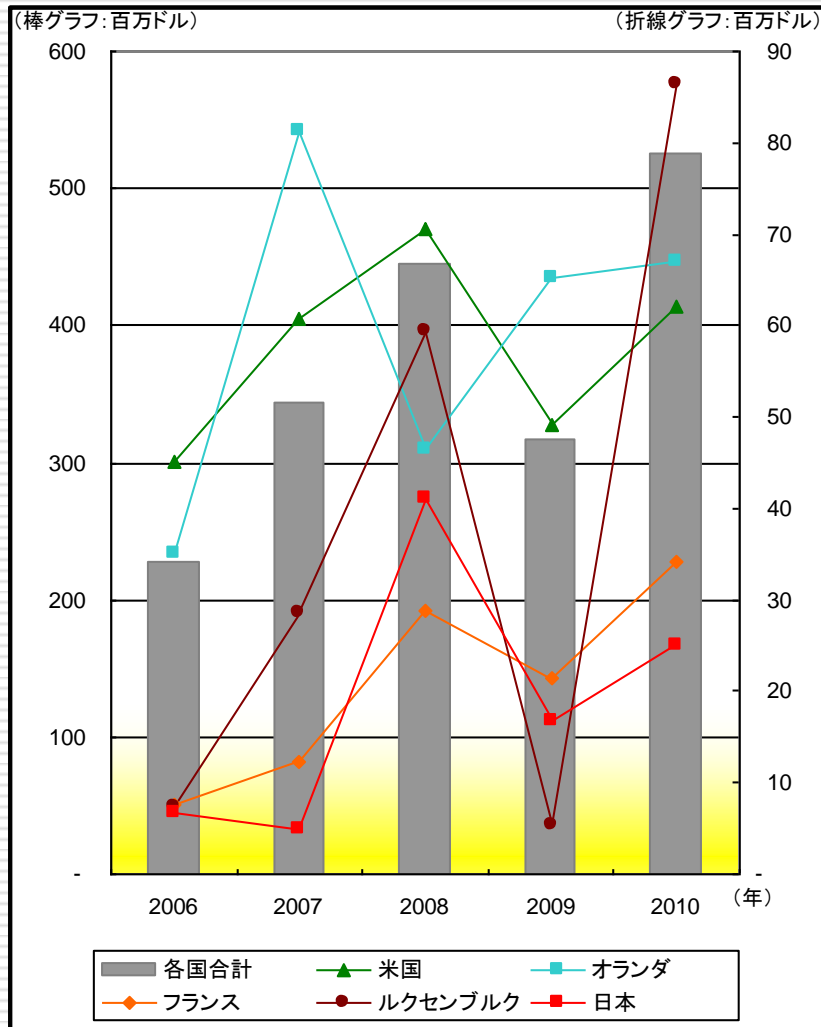
融資組成

ファイナンス  
供与

案件管理

## 2. 投資先としてのブラジル

### □ 主な外国直接投資(国別)



出典: ブラジル中央銀行

### □ 投資先としての魅力

- 国内市場の成長性
- 安定した政治・経済情勢
- 欧米市場向け輸出戦略
- 日本との歴史的繋がり

### □ 事業展開上の課題

- プロジェクトの長期・巨額・複雑化
- 外国企業との競争激化
- ブラジルコスト(インフラ未整備、煩雑な税制、労働規制等)
- 政策変更リスクへの対応
- 為替・インフレリスクへの対応
- レアル建長期資金へのアクセス
- プロジェクト情報へのアクセス
- 地場有力企業とのパートナーング

### 3. レアル建長期資金調達の現状

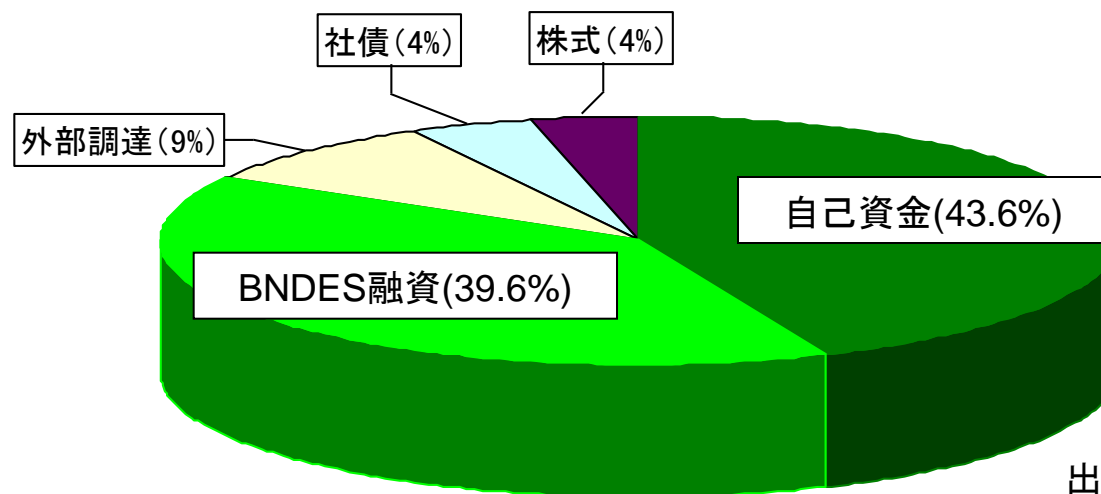
#### □ 民間セクターからのレアル資金調達

- インフラ事業に必要な資金：10年～20年の長期資金
- 間接金融（BNDES以外）
- 社債市場
- スワップ市場

最長5年程度

#### □ 実質上、BNDESが唯一のレアル建長期資金の調達先

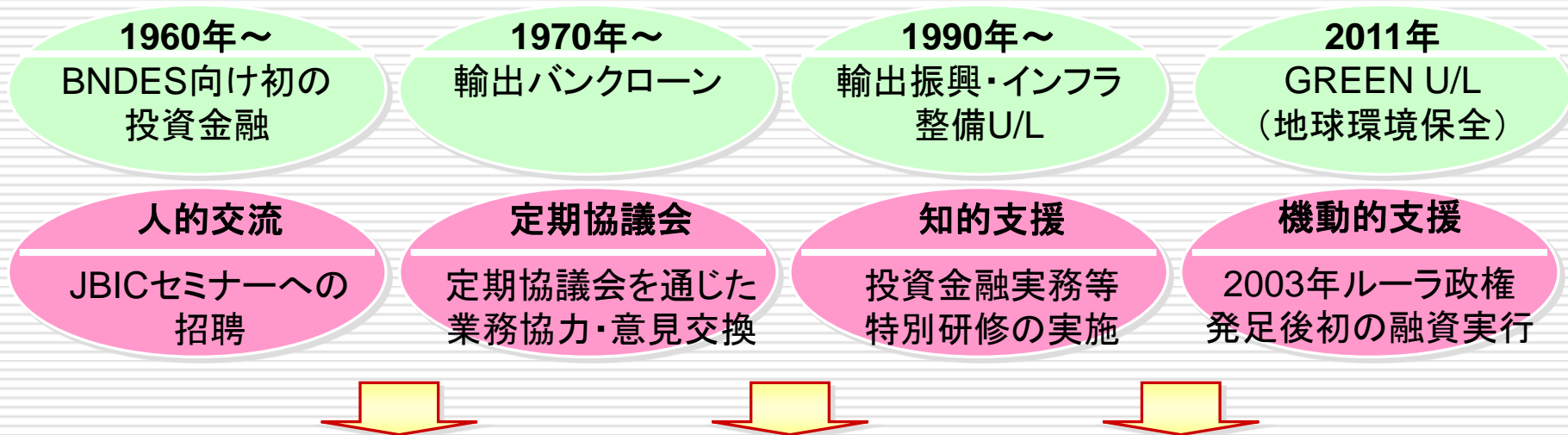
インフラ事業及び製造業における事業投資資金内訳（2009年度予測値）



出典：BNDES

## 4. JBICとBNDESのパートナーシップ

JBICとBNDESの関係が始まってから**50年間**、  
BNDES向けに**総額約3,000億円**に上る融資契約を締結



50年に亘るパートナーシップをベースに新たなイニシアティブ形成へ

～2011年以降 レアル建ファイナンスによる本邦企業のインフラ事業参画支援～  
～拡大するインフラ整備関連資金需要をカバーする安定的な資金調達の確保～

## 5. 【JBIC/BNDES】リアル建ファイナンスイニシアティブ

### □ 前提:

- ブラジルにおけるインフラ事業には本邦企業も積極的な参画を検討中。本邦企業が参画を計画する案件だけでも、交通セクターを中心に今後数年間で30億ドルを超える資金ニーズがあり、かかる資金ニーズを満たすべく協力を行うもの。
- JBICとしては、投資金融にて本イニシアティブを支援。

### □ 融資対象プロジェクト:

- 伯企業と協働し、本邦企業が主導的な立場で参画するインフラ事業のうち、主たる事業収入がリアル建となる事業。

### □ 概要:

- JBIC融資を受け、BNDESは、原則として優遇条件でリアル建融資を行う。具体的には、①適用ベース金利、②融資期間、③対象案件のプライオリティ（優先的に審査を実施）における優遇。
- 今回のMOUは全セクターに共通する枠組み合意であり、今後セクター毎に具体的案件をベースにその特殊性を踏まえた対応を協議。
- JBICはMOUに基づき、対象案件情報をBNDESに提供・取次ぎを行い、個別案件毎に具体的な条件の協議を行い、案件組成を側面的に支援。本邦企業は2つのルートから進捗状況の把握が可能。

## 6. 本イニシアティブのメリット①

### □ レアル建長期資金へのアクセス

- 未成熟な長期資金マーケット
- BNDES初のイニシアティブ
- パートナリング協議の促進に活用

### □ 為替リスクを伴わないベース金利の適用

- 本件でのBNDES適用ベース金利:TJLP(レアル建長期金利6%)\*、IPCA(インフレ連動金利6.55%)\*
- SELIC(ブラジル中銀銀行向けオーバーナイト金利):12.25%\*
- 今後、BNDESとしてTJLP(及びIPCA)での与信は限定され、バスケット通貨金利(為替リスクあり)への代替が進む見通し。

### □ 巨額・長期の融資

- JBIC融資額・融資期間以上の与信
- BNDES融資実行額(2010年):約8兆4,200億円(1,684億レアル)
- 対象インフラ事業のキャッシュフローに合わせ、10年超の長期与信を想定

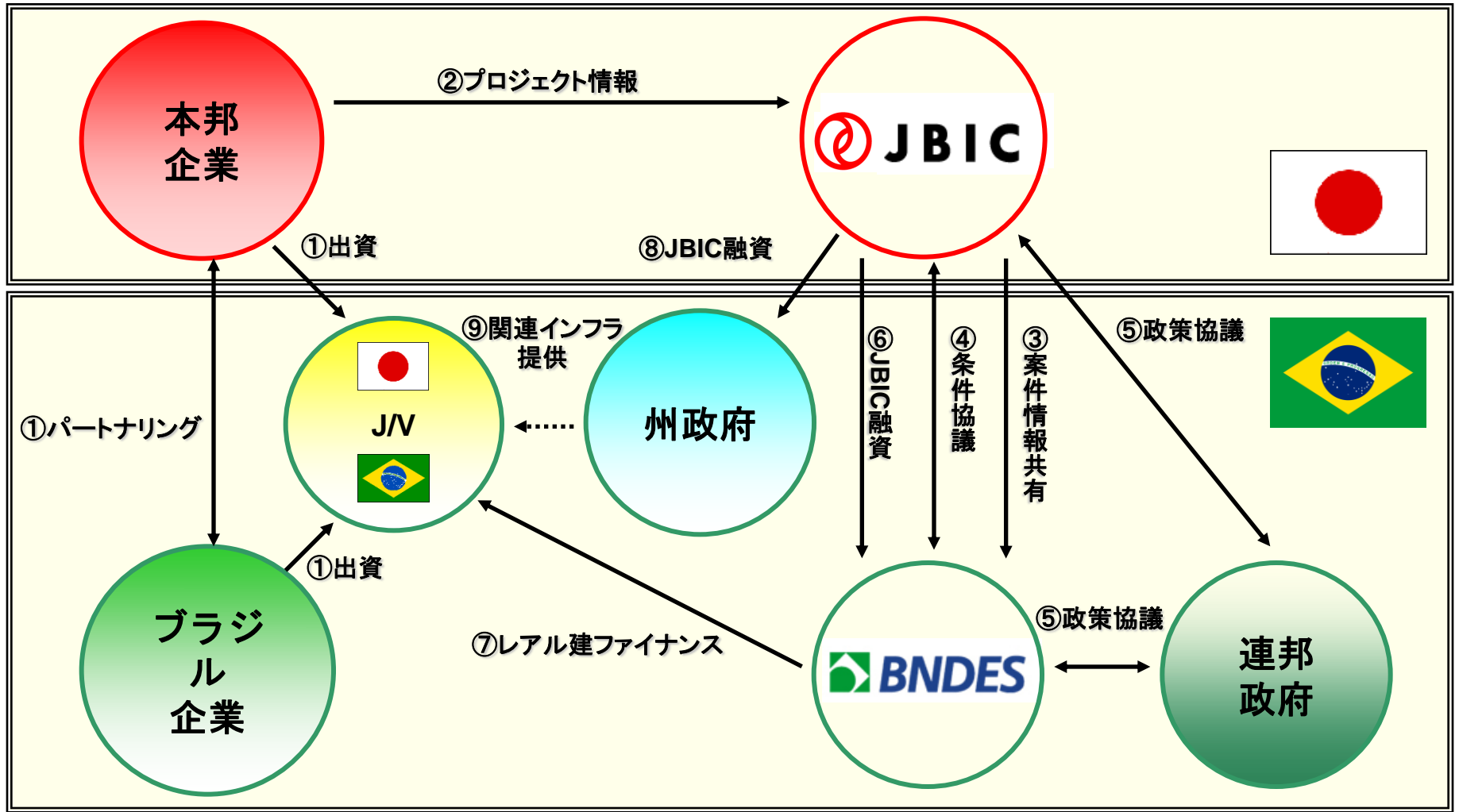
## 6. 本イニシアティブのメリット②

---

- **ブラジル連邦政府によるプロジェクトの認知**
  - 予算企画省(SEAIN)との政策協議
  
- **タイムリーなデューデリジェンスの実施**
  - JBIC及びBNDESの努力義務として合意
  
- **個別案件毎に事業者のニーズに合わせた具体的優遇条件につきJBIC－BNDES間で継続協議・検討**
  - セクター毎にその特殊性に合わせ異なる対応
  - 今回の合意は全セクター共通の枠組みについての合意



# 7. スキーム図



- ① 上記②のプロジェクト情報の提供は、個別プロジェクトのJBIC担当セクターユニットまで。
- ② 同ユニットがBNDESと案件毎に協議実施。

## ディスクレマー

当資料は一時点又は一定の条件の下でのインディケーション提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。ここに記載されているデータ、意見などは株式会社日本政策金融公庫の国際金融部門である国際協力銀行が信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、国際協力銀行はその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。当資料に記載された条件等はあくまでも仮定的なものであり、かかる取引に関するリスクを全て特定・示唆するものではありません。また、【貴行/御社】決算・税務申告あるいは第三者への報告・情報開示の目的等に利用されることを想定したものではありません。投資及び取組みの最終決定に際しましては、【貴行/御社】ご自身の判断でなされますよう、また必要に応じ【貴行/御社】の顧問弁護士、顧問会計士等にご相談の上でお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。尚、当資料の著作権は国際協力銀行に属し、その目的を問わず無断で引用又は複製することを禁じます。

### 金融商品取引に関する主なリスク

有価証券の引受、募集・売出・私募の取扱いについては、株式相場、金利水準、為替相場及び国内外の政治・経済・金融情勢等の変動並びに発行会社の業務や財産の状況及び信用状況の変化等により、募集、売出し又は私募の延期又は中止を余儀なくされ、予定の資金調達が行えない可能性や売却代金が希望した額に満たないおそれがあります。また、有価証券の売買・デリバティブ取引等については、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場、国内外の政治・経済・金融情勢、発行会社等の業務や財産の状況及び信用状況、裏付資産の信用状況、指標とされた原資産等の変動に伴い、有価証券等の価格又は価値が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

### お客様にご負担いただく手数料等

金融商品取引の実施に際しては、その内容に応じた手数料及び諸費用を【貴行/御社】にご負担いただきますが、本資料のような金融商品取引の仕組み・スキームに関するご紹介資料においては、その額又は計算方法等の表示ができないか、もしくは表示を行っている場合もインディケーションにすぎず、個別取引毎にご提示する契約締結前交付書面等をご確認いただく必要があります。なお、有価証券の引受等に関し、手数料等をいただくことに替えて、販売価格と払込金額との差額を国際協力銀行の手取金とさせていただきます場合もあります。

なお、商品毎にリスクの内容や手数料等の費用が異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読み下さい。

商号 株式会社日本政策金融公庫